

未来という現実の予測

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

新世界秩序における未来はアルマゲドンを予測させる。これは戦いが与えられるということであり、故に第3の選択は、戦いでなく、平和という自己現実の創造を優れたものと考ええる。

これら現実が真実であるならば、世界はその崩壊を約束されているのである。ゆえに第3の選択は、現状の革新的技術システムを利用した未来社会の創造において独自平和外交とともに、自己現実という選択が正しいと考える。

これらは独自外交とともに、第3の勢力を形成することであり、これら天下三分の計は、現実対処として正しい選択であると考ええる。

これら2勢力が戦いにおいて自己を消耗する時、優れた未来の建設と社会の形成は、食糧と産業、軍における安全保障とともにその優位性を確立できるのである。また、宇宙との連携と協力は、技術供与における新しい自己現実の構築を明らかに可能とできるのである。

独自経済圏とマネーシステムの形成は、新しい未来の基盤であり、これらは独自外交への転換を行うべきであると考ええる。

これら第3の選択は、第2次世界大戦における現実と対極し、平和と専守防衛という理念における世界の変化への参加なのである。

明確な理想の世界への提示は、その合意形成とともに、世界の趨勢を確立できることは可能であり、これらは外交指針の確立を提案するものである。

これらはパワーゲームへの隷属でなく、正論における世界政治への参加を提案するものである。

これらは和戦両用において現実への対処が求められると考える。